

10年後に安心して生活できる町をつくるために

6月22日(水)に第3回目の立科町地域支援づくり懇話会を開催し、自分の住む地域で何ができるか知恵を出し合いました！皆さんの地域ではどうでしょうか？

地域にあったらいいこと・やりたいこと

- ・通院・買い物などの外出支援
(デマンド、玄関から玄関まで)、通学支援
- ・雪かき、ちょっとした大工、草刈 (ワンコインで)
- ・ゴミだし (ワンコインまたは年間契約で)
- ・配食 (365日)
- ・おふくろの味レストラン
- ・地域ごとに気兼ねなく集まれる場 (趣味を学べる場、相談を聞いてくれる場、お母さんの交流の場、健康教室、気軽におしゃべりが楽しめる場、子供が学校帰りや休みのときに寄れる場など) がほしい
- ・安否確認、見まわり交流
- ・支え合いの組織をつくりたい
- ・薬剤師さんが訪問・薬の届ける時に相談
- ・施設を開放し、地域の方が施設のマシンを活用し運動できるようにしたり、施設職員が地域に出かけていき勉強会を開催
- ・「福祉」を学校の総合的学習に取り入れる
- ・信州型コミュニティスクール (地域の方が学校へ、作品の発表など)
- ・障がい者とともに旅行



地域でできそうなこと

- ・話し相手
- ・紙芝居、読み聞かせ、童謡、昔の遊び、麻雀、トランプ、花札、囲碁、写真教室
- ・文化祭で寸劇、歌、手芸、絵、写真の発表
- ・戦争・地元の歴史や生活の知恵などの伝承
- ・おふくろの味・食文化の伝承
- ・交流会 (お茶飲み)
- ・近所の声掛け



こんな意見もありました

- ・役割を持つと張りあいができる
- ・地域に出ると社会・地域の動きを知ることができる
- ・空き家・空き店舗の利用ができる
- ・人と関わると思いやりが生まれ活動につながったり、脳が活性化する、元気になる
- ・定期的な集まりになれば、お互いに気にかけて助け合えるつながりができる

集う場所がほしいという意見が多く聞かれました。できることから進めていかれるように具体的に検討していきたいと思います。

住民向けに地域の支援体制づくりについてのシンポジウムを開催します。

●日 時：8月19日(金) 午後1時30分～3時30分

●場 所：立科町老人福祉センター集会室

詳しい内容は、全戸配布チラシをご覧ください。

町民の声をもとに支援体制を考えていきたいと思っておりますので、ご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。子育て中の方や障がいをもった方もお気軽にご参加ください。